（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市北部児童館**
指定管理者名	株式会社日本保育サービス
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指　定 管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A	仕様書に基づき遵守している	A		A	仕様書に基づき遵守している	A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A	同上	A		A	同上	A	年齢層に応じた見守り体制を整え、安全に配慮した施設運営が行われている
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A	常時2名体制としている。	A		A	常時2名体制としている。	S	中高生タイムは仕様書の基準を上回る2名体制を確保し、安全な運営に努めている
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A		A	その日の出来事や来館者の様子について適切に記録している。	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	S		A	非常時も全職員が同様の対応ができるようマニュアルを常備している。	A	統一マニュアルを作成し、利用者参加型訓練を毎月実施している
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	前年度比＋11.7%（全館平均では＋20.5%）	A	前年対比で来館者数は増加した。	A	前年度比▲8.1%（全館平均＋2%）
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A		S	周知の努力の結果、中高生の利用増に繋がっている	S	定期的に沓掛中学校の校内放送で行事を周知	S	学校への周知等により中高生の利用増に繋げている。前年度比＋317.4%（全館平均＋13.4%）
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	仕様書に沿い、適切に行っている。	S	日次の点検作業を三重チェックにより実施している	A	仕様書に沿い、適切に行っている。	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A		A	職員による日常清掃に加え必要に応じ除草・剪定作業を行っている。	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	速やかに相談・報告をしている。	A		A	速やかに相談・報告をしている。	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	A		A	館内掲示及び声掛けで周知を行っている。	S	遊具利用時は年齢に応じた見守りを行い、安全確保に努めている
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A		A	毎月、管理会社JMに必要に応じて相談している。	A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A	本部にて管理をしている。	A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		A	新設遊具を適切に活用し、安全な利用環境の確保に努めている
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A		A	仕様書に記載の指定事業を適切に実施した。	A	ドッジボールタイムは多くの参加者を集め、継続的な来館促進につながった
	自主事業は適切に実施されたか	A	18~20時の中高生利用を促すために「ティーンズホッとカフェ」等のイベントを定期開催するなど適切に実施している	A	自主事業であるドローンクラブの活動をさらに発展させている	A	ティーンズホッとカフェ、おしゃ勉などを実施	S	親子リトミックや合同児童館まつりを実施し、事業の充実を図っている
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A	個人情報に係る書類は施錠できる棚で保管	A		A	個人情報に係る書類は施錠できる棚で保管	A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	今期より開館時間の変更・週3回の中高生タイムの時間延長となったが人員配置も問題なく行うことができた。 館庭の草刈りをシルバーさんに依頼のうえ9月に実施した。 利用者数においては前年の同時期に比べ＋292名と来館が増えている。				館長の定期的な中高生への行事周知によって、少しずつであるが中学生の利用が増えてきている。児童館全体でも昨年に比べプラスで推移した。 引き続き継続的にアプローチを続け、さらに来館者数増を目指していく。			
	【①に係る施設所管課の評価】	館長が近隣中学校へ出向き、校内放送を使って広報を行った結果、中学生の利用者数が大幅に増加しており、積極的かつ地道な働きかけが成果として表れている。今後、備品購入により中高生の学習環境を整える予定であり、その取組は中高生の利用促進の先駆的なモデルになり得る。緊急時対応訓練では、幼児の溺水など具体的かつ多様な場面を想定し、場所設定も含めた実践的な訓練を行っており、CPR訓練報告書においても担当者・役割ごとに反省点を記録するなど、検証と改善の仕組みが機能している。環境整備については、日次での三重チェック体制や避難経路・消防設備等の確認を徹底し、安全管理への意識が高い。さらに、子ども主体で運営されるドローンクラブなど、自主性と居場所づくりを重視した取組がなされている。		区分評価	A	中高生タイムでは仕様書の基準を上回る2名体制を確保し、事故対応についても会社統一マニュアルに基づく運営を行うなど、安定した業務履行に努めている。中高生タイムの周知や中学生向けの遊びの導入により利用者増加につなげたほか、ドッジボールタイムや5館合同の児童館まつり、自主財源を活用した親子リトミックを実施し、多様な事業を展開した。また、新設遊具の利用に際しては、幼児親子と小学生それぞれの特性に応じた見守り・安全管理を行うなど、きめ細かな対応が見られた。さらに、市内5館を運営する強みを活かし、施設間で職員を補完し合う体制を構築しており、安定した運営の確保につながっている。全体として、業務は適切かつ着実に履行されていると評価できる。	区分評価	A

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A		S	アンケート結果を踏まえて幼児が参加しやすいイベントを企画した	A		A	
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A	苦情の受付は無かった。	A		A	苦情の受付は無かった。	A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A	発生は無かったが、万が一に備え日頃から本部⇔施設間や市と連携しながら迅速に報告を行っている。	A		A	発生は無かったが、万が一に備え日頃から本部⇔施設間で連携に努めている。	A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A		A	月次書類の提出方法の改善を図った。	A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A		S	地域講師を活用した事業や合同事業を実施し、満足度向上に努めている。
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A		A	入社時に誓約書を提出いただくことに加え、疑わしき事案が発生した場合の対応フローも定めている。	A	
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	クッキングなど食材扱う行事の実施時は検便を実施しているか	A	上半期は実施なし。	A		A	上半期は実施なし。	A	
	気になる子について適切に情報共有ができているか	A	精神的に不安定な利用者の状況に応じて適宜、学校・市に情報共有をしている。	A		A	精神的に自安定な中学生(女児)の状況に応じて適宜、学校・市に情報共有をしている。	A	施設長間の日誌共有や情報交換により、情報共有体制を構築している。
	事業者独自のサービス提供を行うなど、利用者の満足度向上に努めているか	A	ドローンタイムなど新しい行事を実施した。	A		A	ほくぶでe-スポを実施	S	運営ノウハウや施設間連携を活かし、特色ある事業を展開している
	職員の資質向上に努めているか	S	当社運営施設で発生したアクシデントを全職員に周知し「どうしたら未然に防げるか」ディスカッションを行っている。	A		S	毎月、様々な状況を想定した「ケース検討会」を実施しディスカッションを行うなど資質向上に努めている。	A	施設長同士の相談や日誌共有により、運営力向上に努めている
	【②に係る指定管理者の自己評価】	大きな事故・トラブルもなく上期を終えることができた。 中高生タイムは当初、利用が全くない期間もあったが館長が小学校の昼放送にお邪魔し定期的に周知をおこなっている。 その効果もあり現在は多い時で、6名程度の利用がある。今後も来館を増やせるよう努めていく。				大きなトラブルもなく安定運営に努めることができた。eスポーツ体験や中高生タイムの自主事業も計画的に実施することができた。 毎月実施しているケース検討会で安全配慮の知識向上を促し、それを非常勤職員へも共有している。施設全体での育成の質向上に努めることができている。			
	【②に係る施設所管課の評価】	子どもへの性暴力防止を重要課題と位置づけ、職員入社時に誓約書の提出を求めるとともに、疑わしき事案発生時の対応フローを明確に定めており、組織としての危機管理体制が確立されている。不適切育成に関する社内研修を月3～4回の頻度で実施し、全スタッフを対象にテストやレポート提出を課している点は、知識の定着と意識向上を図る実効性の高い取組である。また、利用者アンケートを踏まえ、未就学児向けイベントを土曜日に実施するなど、ニーズに即した柔軟な運営が行われている。加えて、精神的に不安定になりがちな利用者のケアについて、館長と会社間でグループチャットを活用した情報共有体制を整えており、個別ケースに対して組織的に支援している。		区分評価	A	子どもへの性加害事案に関する会社統一マニュアルを整備し、安全・安心な利用環境の確保に努めている。また、愛知県内施設長によるグループチャットや児童館日誌の共有を通じて、児童対応や運営上の課題に関する知見の共有を図り、サービスの質の向上につなげている。さらに、市内の系列児童館との連携により地元講師を活用した親子リトミックを自主財源で実施し、利用者ニーズへの対応と地域人材の発掘を実現したほか、市内5児童館合同の児童館まつりを開催するなど、単館では難しい事業展開を行った。全国345施設の運営実績や放課後子ども教室運営で培ったノウハウも活用されており、組織力と施設間連携を活かした質の高いサービス提供がなされていると評価できる。		区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A		A		A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A	経理部門で必要な帳簿を管理	A		A	経理部門で必要な帳簿を管理	A	
	経理処理は適正に行われているか	A	適切に処理をしている。	A		A	適切に処理をしている。	A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	備品等の一括発注によりスケールメリットを活かしている
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A		A	消毒液等の一括購入でコストを削減している。	A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	全国で多数の施設を運営しており安定した経営基盤を有する
	【③に係る指定管理者の自己評価】	特に問題なく推移している。				特になし			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。		区分評価	A	衛生用品等の一括発注によりスケールメリットを活かした経費削減に取り組むとともに、全国で多数の施設を運営する法人として安定した運営基盤を有している。効率的な経費管理と豊富な運営実績に支えられた組織体制が確立されており、継続的かつ安定的なサービス提供が期待できる状況であると評価できる。		区分評価	A

【項目評価】

S（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

A（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

B（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

S（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

A（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

B（課題あり）：　項目評価にBがある。

C（要改善）　：　項目評価にCがある。